

森林教室ご案内



高尾森林ふれあい推進センター

平成27年3月

目次

1 高尾森林ふれあい推進センターとは？	1
2 森林教室でできること	1
①森林学習	2
②森林観察	3
③丸太切り	5
④クラフト体験	6
⑤炭焼体験	7
⑥森林教室の標準的スケジュール	8
3 施設案内	9
4 森林教室の実施基準	11
5 森林教室の申込方法	11
6 森林教室の実施要領	13
7 作文コンクールについて	14
8 写真撮影について	14
9 森林教室を支えてくれるボランティア	15
10 施設へのアクセス	15



1 高尾森林ふれあい推進センターとは？

高尾森林ふれあい推進センターは、農林水産省林野庁関東森林管理局の組織で、多くの皆様に森林や林業に対する理解を深め、森林と親しんでいただくため、主に高尾山の国有林野を活用して、いろいろなイベントを行っています。

特に、次代を担う子どもたちに、森林内での体験活動などを通じて人々の生活や環境と森林との関係について学んでいただくため、楽しく理解しやすい実習等の場を提供する、「**森林環境教育**」を実施しています。

このほか、NPO等の自然再生活動、生物多様性の保全に関する活動に対する技術的支援等に取り組んでいます。

2 森林教室でできること!!

- (1) **目的** 小学校4～6年生を対象として、「総合的な学習の時間」の導入により、子どもたちの「生きる力」を育む体験学習等を行っています。
- (2) **内容** 大きく分けて「森林学習」「森林観察」「丸太切り」「クラフト体験」などの講義・実習があり、学習させたい内容ごとに自由に組み合わせることも可能です。基本的には、午前と午後に1コマずつ、1日4～6時間のプログラムを実施します。
また、「炭焼き体験」、「森林学習」、「クラフト体験」のみを体験できるプログラムもあります。
- (3) **実施場所** 森林ふれあい館、学習の歩道、日影キャンプ場ほか、プログラムの内容によっては小学校まで出張して森林教室を行います。
- (4) **対象機関** 教育機関を対象とします。申し込みは学校などからの申し込みとなります。費用は無償ですが、交通費や保険料等は学校の負担となります。

次ページより学習内容についてご案内します。

① 森林学習

当センターでは、アニメーションの視聴を通して、地球温暖化が進んでいることを身近な実例を踏まえて示し、温暖化防止に向けて、子どもたちに「一人ひとりでは小さな一歩でも皆が手をつないで歩き出すことにより、大きな一歩へとつながる」ことを感じさせ、考えさせることとしています。映像の中には、食物連鎖・森の仕組み・光合成・地球温暖化の仕組み、温暖化防止の取り組みなどが収録されています。

アニメーションの後には、職員が作成したスライドで「森林からの恵み」、「森林の働き」などについて、子どもたちに問いかけながら学習をすることで、より効果的な森林・環境教育の実施に心がけています。



パワーポイントによる講義



地球温暖化問題についてDVD鑑賞でわかりやすく学ぶ

② 森林観察

森林観察は、スタッフが森林ふれあい館周辺の森林の歩道や林道に沿って案内し、森林や林業について解説しながら、ポイントに応じて動植物のガイドも行います。解説の内容は、森林の働きを中心に「緑のダム」「間伐の重要性」、「地球温暖化」、「森林の土壌」等の解説をします。

また、学校ごとの学習内容に沿った解説のリクエストも可能です。



森林の中で森林の働きを解説します。



サワガニ！！



上流の水源林から流れてくる水に触れる。

また、高尾山は季節ごとに豊かな植物相を形成しています。ひとつひとつの花の名前を覚えることはできなくとも、多くの植物を実際に目にし、ときに触れることにより、子どもたちに強い印象を残すことができるのではないのでしょうか。

森林観察コース案内



【体験コース】

スケジュールや体験内容に合わせたコースを選定できます。

(1) 防火線コース (約2.5km/90分)

ふれあい館→**学習の歩道**→防火線入り口→大平林道→ふれあい館

(2) 一丁平コース (約4.5km/180分)

ふれあい館→**学習の歩道**→防火線入り口→**学習の歩道**→大平林道→ふれあい館

※ なお、短縮コースや体力の無い子のために歩きやすいコースやも設定できます。

③ 丸太切り

子どもたちに人気のあるのが丸太切りです。スギの間伐材を輪切りにして、樹木の性質や重量感を体で感じたり、ノコギリを使用して丸太を切る達成感を体験することができます。

切った輪切りを教材に、樹木が成長する仕組みの解説を実施しています。

ノコギリを持ち慣れない、初めて持った子どもは最初おそるおそる切り始めるのですが、すぐにコツをつかみ、2枚3枚と夢中になって切っていきます。水分を多く含んだ輪切りを日光に透かすと赤く見えるのがとても珍しいようで、一生懸命薄く切ろうと工夫する子もいます。スギの皮をむくと木肌が真っ白なのに感動し、綺麗にむいて家族へのお土産にする子も多いようです。



丸太切り



樹木の生長の解説

④ クラフト体験

木の枝や木の実を利用した木工品を作成することができ、作品は持ち帰ることができます。ただし、プログラムの都合等によっては、お受けできない場合もあります。

刃物の安全な使い方や樹木の性質を学び、創作することの楽しさを味わうことができます。自分の作った作品を通じこの材料がどこから来たのか、森林の恵みをこれからも受けるために自分たちに何ができるのか考える時間にもなります。

また、例えば、高尾山登山の帰りを利用して当センターで簡単なクラフト体験もできます。



スタッフの指導のもと楽しく作成します



自信作ができました



⑤ 炭焼体験

学校が用意した材料(スギや竹材)を利用して、日影沢の自然学習体験施設(炭焼小屋)で炭焼きを体験できます。

炭焼き体験は2日間で実施します。1日目は炭窯の火入れと森林学習や花炭作り、2日目は窯出しをします。出来上がった炭は持ち帰ることができます。

※現地までの交通手段のうち、借上バスの場合は、駐車場の確保が必要となりますので、事前に御相談ください。



炭窯の火入れ



窯出し



花炭

⑥ 森林教室の標準的スケジュール

森林教室の標準的スケジュールです。開始や終了時間、プログラムなどの調整は可能です。

行 程	時 間 帯	所要時間	備 考
林道到着	9:30~9:40	0:10	
ふれあい館到着	9:40~9:50	0:10	下車
開校式等	9:50~10:00	0:10	式・荷物整理・トイレ
森林学習	10:00~10:45	0:45	
丸太切り	10:45~11:30	0:45	クラフト体験に変更可能
昼食	11:30~12:30	1:00	
記念撮影	12:30~12:40	0:10	
森林観察	12:40~14:10	1:30	(1)防火線コース
閉校式等	14:10~14:20	0:10	式・荷物整理・トイレ
ふれあい館発	14:20~14:30	0:10	乗車

3 施設案内

○高尾森林ふれあい推進センター



〒193-0844

東京都八王子市高尾町

2438-1

当センターは、1階が展示室とクラフト体験室になっており、高尾山の登山とセットで森林教室やクラフト体験ができます。

なお、2階は事務室となっています。

TEL 050-3160-6040

FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

○森林ふれあい館



東京都八王子市南浅川町4149

当センターから国道20号線を相模湖方面に約5km地点(右側)にある大平林道入口から約400m地点に「森林ふれあい館」があり、100程度名が入れる多目的スペース(2室)を有し、緑豊かな森林に囲まれた体験施設です。

なお、現地は、携帯電話の使用ができないことから、利用当日は以下の固定電話におかけください。

TEL 042-662-5094

○日影沢キャンプ場

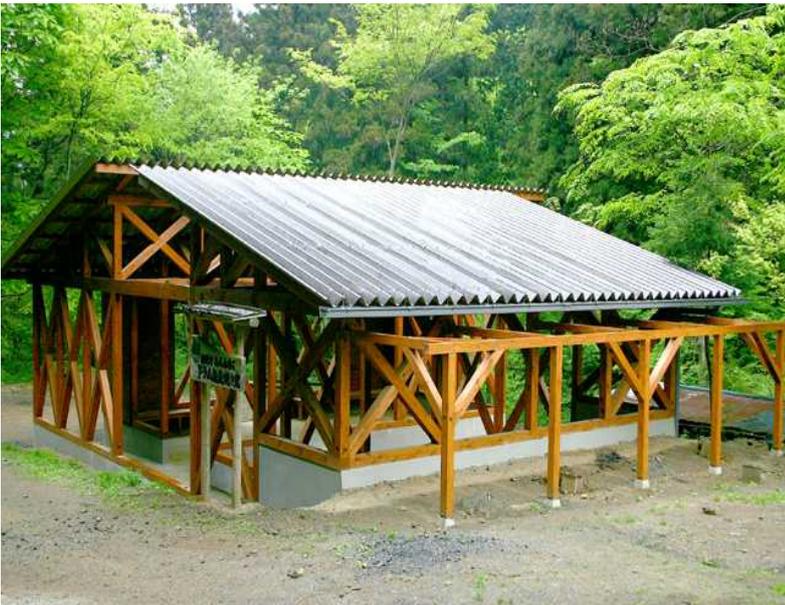


八王子市高尾町高尾山国有林内
東京都八王子市高尾町2181-1

高尾駅北口から小仏方面に約5km地点に敷地約2千㎡の国設キャンプ場があり、約80名の利用ができ、野外での森林教室や体験活動が可能です。

なお、利用は、完全予約制ですので、早めに申込みください。

自然学習体験施設(炭焼小屋)



八王子市高尾町高尾山国有林内
東京都八王子市高尾町2181-1

日影沢キャンプ場から歩いて約5分の地点に自然学習体験施設(炭焼小屋)があり、ドラム缶窯や原始的な伏焼窯を利用した炭焼体験ができます。

なお、炭焼体験の炭材は、利用者の持込みが原則です。

4 森林教室の実施基準

(1) 依頼書等により依頼内容を審査し、依頼案件が次に掲げる基準のいずれかに該当するときは、依頼イベントを受付けます。ただし、日程及び実施内容が他の行事と重なったり、実施規模や内容に無理がある等のイベントはお断りすることがあります。

- ① 国又は国の主催による場合
- ② 政府関係機関(独立行政法人、特殊法人及び認可法人)
- ③ 地方公共団体
- ④ 教育機関又は学会等であって、その目的及び事業の内容が公共性の高い機関であること
- ⑤ 次項(2)以外の団体等であって、かつ信用確実であり、その目的及び内容が妥当と当センター所長が認める場合

(2) 次の各号の一つに該当する場合、依頼を受けることができません。

- ① 営利・宣伝行為、政治・宗教活動を目的とする団体・集団又は個人
- ② 常習的に暴力的不法行為を行うおそれのある組織と認められる団体・集団又は個人
- ③ 依頼内容に係る参加者への社会的責任及び賠償責任を負えないおそれのある団体・集団又は個人と判断される場合
- ④ 依頼書等及び審査に必要な書類に故意に虚偽の事実を記載した者又はこれを代理人、支配人その他の使用人として使用する者

5 森林教室の申込方法

森林教室・体験林業等の依頼をされる際は、**事前に当センターにお問合せいただき日程及び実施内容等を調整の上**、以下の依頼書の提出をお願いします。

申込用紙は次頁の様式をコピーするか、当センターのHPからダウンロードしてご使用下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

平成 年 月 日

高尾森林ふれあい推進センター所長 殿

住 所

氏 名

電 話

森林教室の依頼について

森林教室を下記のとおり依頼いたしますので、ご協力をお願いいたします。

記

1 依頼目的

2 希望日時 平成 年 月 日 : ~ :

3 参加人員 名
(年生 : 男子 名、女子 名、教職員 名)

4 依頼内容 内容は、貴センターのご都合に合わせます。

5 その他 森林教室等の際に生じた参加者等の身体の負傷事故や所有物の盗難、破損事故等については、当方及び参加者各自の自己責任において全て処理します。

6 森林教室の実施要領

(1) 申込方法

- ・森林教室の申込みは、事前に電話で日程を調整し、当センターのホームページから申込用紙をダウンロードの上、学校長等代表者の公印を押印して提出してください。

(2) 事前準備

- ・可能であれば、事前に森林の働きや林業、環境などについて勉強させてきてください。

(3) 森林教室の進め方

- ・開会及び閉会時の当センターの受け持ちは、①所長挨拶、②スタッフ紹介、③日程説明、④注意事項説明、⑤閉会挨拶です。
- ・司会進行は学校(生徒)が行ってください。
- ・閉会時に生徒代表に感想を発表させてください。

(4) 注意事項

- ・肌が露出しない服装(帽子、長袖、長ズボン、長靴下)と運動靴で参加願います。
- ・現地の水道は飲料に不適です。水筒を必ずお持ちください。
- ・高尾山は、国定公園、保安林等に指定されているため、植物の採取はできません。
- ・狭く急な歩道を歩きますので、ふざけたり、押したり、走ったりせず、スタッフの指示に従って行動してください。
- ・蜂などを見つけた場合は、騒がずに近くのスタッフにお知らせください。
- ・ゴミは必ず持ち帰ってください。

・緊急連絡先

森林ふれあい館：042-662-5094

高尾森林ふれあい推進センター(携帯)：080-1097-5509

7 作文コンクールについて

毎年、森林作文コンクール実行委員会（関東森林管理局東京事務所と一般社団法人東京林業土木協会）が主催の「**森林は友達！作文コンクール**」を実施しています。

これは「森林教室や体験林業」に参加した小学生（4～6年生）を対象として、感じたこと、学んだことを作文にすることによって、森林・林業等に関する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的としています。

作文コンクールは、平成9年度から始まり、これまでの参加人数は1万9千人を超えています。

作成にあたってのポイントは、森林教室で体験したことについて、

- ①子どもたちが自然の中で感じた「思い」「疑問」「感動」を素直に表現
- ②確かな知識を学習したことを書く
- ③表現に工夫し、オリジナリティを出す
- ④作文の構成（段落等）に注意
- ⑤誤字脱字に注意し、読みやすい綺麗な文字で書く

などに留意ください。感想を作文に残すことにより強心に焼き付けることができるのではないのでしょうか。

なお、参加は、学校クラス単位となりますが、任意です。



表彰式



記念品

8 写真撮影について

写真撮影は、イベントの実施記録や当センターの広報誌「Forest通信」等に掲載するため、森林教室や体験の際に撮影させていただきます。ただし、生徒さんの顔や個人が特定できる情報とならないよう留意しますので、御理解と御了承をお願いします。

9 森林教室を支えてくれるボランティア

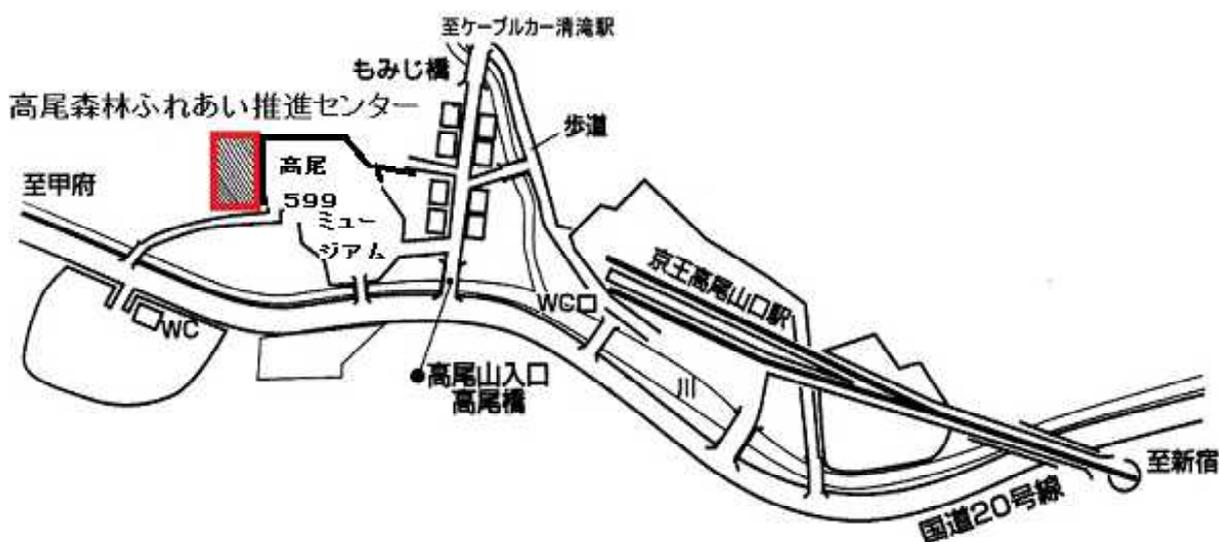
～官民協働で子供たちの森林環境教育等をサポート！～

高尾森林ふれあい推進センターでは、スタッフとして職員とイベントをサポートしてくれる森林ボランティア団体の「フォレストサポート・高尾(FS高尾)」や森林・林業や森林環境教育に造詣を有した者など一定の条件を満たした方々からなる「フォレストサポートスタッフ(FSS)」と協働して、森林教室、丸太切り、森林クラフト、森林観察の技術支援や安全指導など、森林環境教育の充実と持続可能な取組に努めています。



10 施設へのアクセス等

- (1) 高尾森林ふれあい推進センター庁舎
京王線高尾山口駅から徒歩約5分



(3) 日影沢キャンプ場へのアクセス

<自家用車>

○高尾方面

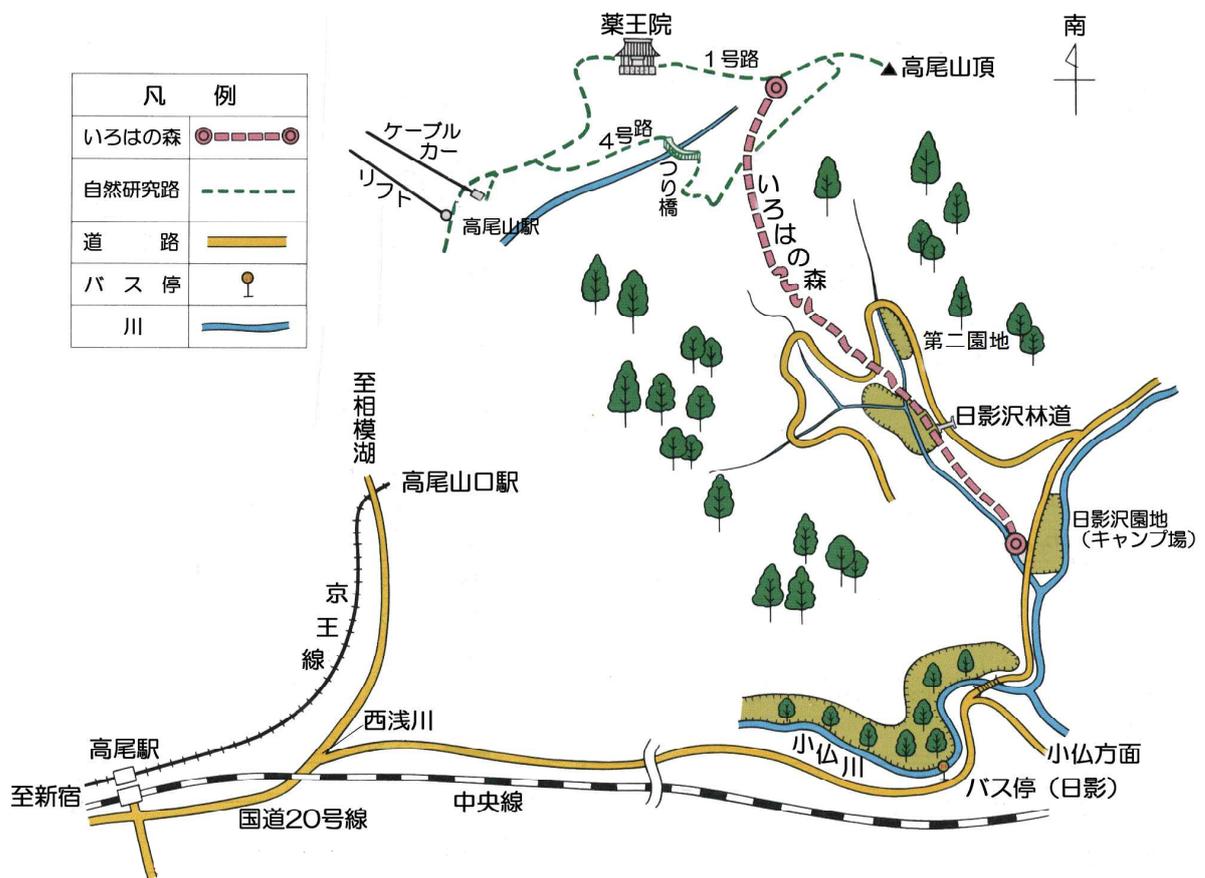
JR高尾駅前から国道20号線を相模湖方面に約1km地点の西浅川交差点を右折し都道516号線を小仏方面に約3km進んだところにある日影沢林道入り口から約600m地点

○相模湖方面

京王線高尾山口駅前から国道20号線を高尾駅方面に約1km地点の西浅川交差点を左折し都道516号線を小仏方面に約3km進んだところにある日影沢林道入り口から約600m地点

<路線バス>

京王バス高尾駅北口バス停から小仏行きに乗車し日影バス停下車、日影沢林道を徒歩20分





国民の森林・国有林

林野庁 関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

TEL 050-3160-6040

FAX 042-663-7229

